



田植え前の春の風物詩

足立区都市農業公園

田んぼに広がるピンクのレンゲ絨毯！

令和5年4月4日 送付枚数：1枚

！ここがポイント！

■今では見かけることが珍しいレンゲ

昔は田んぼが多く、いたるところで見られた「春の訪れを告げる」レンゲですが、田植えの時期が早まったり、化学肥料の普及など様々な理由で減少しています。

■きれいだけじゃない！肥料としての役割

レンゲはマメ科の植物で地中に窒素をたっぷり取り込み、田植え前に土と一緒にすきこんで混ぜることで、栄養たっぷりの土が出来上がります。そのため、休閑期の田んぼにはよくレンゲが植えられていました。

■足立区の明治～昭和の原風景と一緒に写真撮影

都市農業公園では無農薬・無化学肥料でお米を作っており、毎年秋に販売しています。足立区の昔の田んぼ風景を思い起こさせるレンゲと古民家をバックに写真撮影はいかががでしょうか。

◆昔ながらのレンゲのある田んぼ

足立区内にある田んぼは2箇所のみで、その一つが都市農業公園内にあります。園内のレンゲの見頃は5月上旬くらいまでとなっており、その後田んぼにすき込んで田植えを行う予定です。昔の田んぼの様子が見られる貴重な場所としてぜひ、取材・報道をお願いします。

足立区都市農業公園(足立区鹿浜 2-44-1)

- 開園時間：午前9時から午後5時まで
- 入園料：無料
- 休園日：毎月第1・3水曜



▲可愛らしく咲くレンゲ。田んぼ一帯がピンクの絨毯に！



▲田植え前のすき込みの様子。混ぜ込んで肥料とし、土に栄養を与えるという昔ながらの方法でお米を作っています。



▲古民家とレンゲ。足立区の昔の風景を思い起こさせます。

■ 本件に関する問い合わせ先

足立区都市農業公園 責任者：浅羽 広報：木村・林 ☎03-3853-4114

■ 発信者

政策経営部 報道広報課 報道担当 谷内 ☎03-3880-5816 ㊟070-5598-7874